三枝克之　（みえだかつゆき　Katsuyuki Mieda）　プロフィール　　※2021年　3月 1日現在

●文筆家、著作家
●編集者（ビジュアルと言葉による本）
●カルチャーカフェ《CAFE UNIZON》店主
●企画プロデュースオフィス《office UNIZON》主宰

◇衣食住・環境・旅などの暮らしや、文芸・写真・美術・映画・音楽・伝統文化といったカルチャー、またそれらの融合や連動をテーマ、モチーフとする。
◇上記テーマ、モチーフに基づく企画・編集・プロデュース・ディレクション・著作業。および、関連する著述・コピーライティング・デザイン・写真撮影・商品企画・プロモーション・ブランディング・マネジメントなど。

■〒901-2201　沖縄県宜野湾市新城2-39-8　MIX life-style 2F　オフィスユニゾン
■TEL：098-896-1060　■FAX：098-896-1060　■E-mail：mieda@office-unizon.jp
■ＨＰ：https://www.cafe-unizon.jp/mieda-katuyuki/
■Twitter：@miedaunizon　■Facebook：Katsuyuki Mieda　■Instagram：miedaunizon
◉WEB プレス《WAVE UNIZON》：https://www.wave-unizon.com

＜略歴＞
◎1964年2月28日、兵庫県西宮市生まれ。父は西宮出身、母は琉球文化圏の奄美群島・沖永良部島出身
◎1986年、同志社大学文学部文化学科卒業（美学・芸術学専攻、卒論テーマは映画学）
◎1986年、上京。CBSソニーグループ（現ソニーミュージック・エンタテインメント）に入社。EPICソニーの関東大型店への営業を経て、ＣＢＳソニーのビデオ制作室ディレクター（担当：宮沢りえ、近藤真彦、伍代夏子、渡辺美奈代ら）を務める
◎1989年、京都に転居。1990年、光琳社出版に入社。その後、編集長をつとめ、数多くのビジュアルブックを企画編集。同社が当時の日本を代表するアート出版社になる礎を築く
◎1995年にフリーランスの出版プロデューサーとして開業。2001年より著作活動もはじめる
◎1996年より2年間、大阪総合デザイン専門学校絵本科の非常勤講師として編集講義を担当
◎1998年より1年間、KBSラジオ『早川一光のバンザイ人間』に準レギュラー出演。番組がギャラクシー賞受賞
◎1994年、98年にヨーロッパ、北アフリカ、アジア各地に長期間の放浪旅行
◎2003年6月、沖縄に転居。２年の専業主夫生活を経て、2005年より編集者・文筆家としての活動再開
◎2005年10月、屋号を《office UNIZON》に改称
◎2005年11月、宜野湾市にカルチャーカフェ《CAFE UNIZON》をオープン
◎2005年より2017年まで、琉球新報で映画コラムを長期連載（月1回、トータル139回）
◎2009年度より5年間、京都造形芸術大学の非常勤講師として、通信教育部写真コースで写真編集の講義を担当
◎2010年頃より『BRUTUS』『Casa BRUTUS』『Hanako』『& Premium』『JTA機内誌Coralway』 など、全国誌各誌で沖縄関連記事を執筆する
◎2015年10月、創業10周年を機に《CAFE UNIZON》をリニューアル。昼は「沖縄文化食堂」、夜は「沖縄文化酒場」を謳う
◎2017年12月、WEBプレス《WAVE UNIZON》をスタート
◎2021年3月、創業15周年を機に《CAFE UNIZON》のECサイト「沖縄文化市場」をスタート

＜主な企画編集した本＞

▼『空の名前』　（高橋健司／光琳社出版→KADOKAWA）

＊朝日新聞『天声人語』での紹介、ドリカムの曲に登場するなど、「元祖・癒し本」「日本人の心のバイブル」として60万部を超えるベストセラーを記録した「空の図鑑」

▼『宙の名前』　（林完次／光琳社出版→KADOKAWA）

＊『空の名前』の夜空版。TVドラマ『白線流し』で主人公の愛読書に。雑誌『ダ・ヴィンチ』の95年ベスト本大賞第８位。通算45刷35.7万部のベストセラー。2010年に『新訂版』を発売

▼『色の名前』　（ネイチャープロ編集室／光琳社出版→KADOKAWA）

＊シリーズ続刊の「色の図鑑」（旧題『色々な色』）。通算34刷25.4万部のベストセラー

▼『マティスのロザリオ礼拝堂』　（光琳社出版）

＊巨匠マティスの最高傑作、南フランス・ヴァンスの礼拝堂を世界で初めて詳細に紹介

▼『京のあたりまえ』（岩上力／光琳社出版→光村推古書院）

＊「京都本」の先駆けとして全国でも話題に。「京都検定」の種本として、通算10刷。19年に新訂版発売

▼『初恋』　（中原みすず／リトルモア→新潮文庫）

＊府中３億円事件の実行犯による青春文学として、小泉今日子氏らが絶賛。06年、宮崎あおい主演で映画化（GAGA）され、原作も７刷10万部のヒット。08年8月に新潮文庫で発売、「新潮文庫の100冊」に

▼『ありのまま　～ていねいに暮らす、楽に生きる～』　（梶田真章／リトルモア）　※企画

＊現代の名僧、京都の法然院貫主のエッセイ集。写真・鈴木理策。角田光代氏が推薦

▼『本のお茶』（文・川口葉子、写真・藤田一咲／角川書店→角川文庫）

＊岡倉天心の名著『茶の本』をカフェスタイルに。宮本亜門氏が推薦。07年単行本、17年12月文庫版発売

▼『「中川ワニ珈琲」のレシピ　家で楽しむ手焙煎コーヒーの基本』（中川ワニ／リトルモア）　※企画

＊自分で飲むコーヒーを自分で焙煎する贅沢。初の本格的ハンドローストガイド

＜主な著書＞

◆『天使のカレンダー』　（絵・寺門孝之／リトルモア）　※文・デザイン

＊画家・寺門孝之が描く天使の絵366点を綴り、各天使のプロフィールを添えた空想天使図鑑

◆『恋ノウタ』＜全３巻＞　（角川文庫）　※編・訳・文

＊万葉集の恋歌をポップス調に意訳し、写真とリミックスした単行本『Contemporary Remix “万葉集”シリーズ』（光村推古書院）の文庫化。フジテレビで1年間放映された大人気のミニ番組『恋ノウタ』（ナレーター・奥居香）の原作。シリーズ20万部。新海誠監督『言の葉の庭』の主人公の書棚にも登場

◆『月のオデッセイ』　（リトルモア）　※編・文

＊世界各地の月の写真と、月にまつわる神話・民話で綴る「月の写真絵本」。現在6刷

◆『旅のカケラ　パリ＊コラージュ』　（角川書店）　※編・写真・文・デザイン

＊1200点の写真を使った、図鑑スタイルの斬新なパリガイド。たちまち9刷の大ヒット

◆『風に聞いた話　～竜宮の記憶～』　（写真・垂見健吾／角川書店）　※編・文

＊風の名前をモチーフに、琉球の歳時記と神話を綴ったビジュアルブック。2008年3月発売

◆『FUTENMA360°』（編・オフィスユニゾン／ビブリオユニゾン）　※写真・文・デザイン

＊普天間基地のある宜野湾市の新機軸タウンガイド。日経新聞1面コラム「春秋」で紹介、ブックファースト新宿店で「名著百選」に選定。2010年6月発売

◆『時の名前』（写真・西美都／KADOKAWA）　※企画・編集・文・アートディレクション

＊シリーズトータル120万部『空の名前』シリーズ、四半世紀ぶりの最新刊。「時」にまつわる言葉471項目と807語を、178点の写真とともに紹介。2019年9月発売

＜主な文章執筆など＞

▽機内誌『コーラルウェイ』　（日本トランスオーシャン航空／編集室りっか）　※取材・文

＊JTA（日本トランスオーシャン航空）の機内誌で、特集ページの取材執筆を担当

＊「110　大東島に本屋さんがやって来る」「113　みゃ～く方言大会」「115　島唄の誕生」「122　子どもたちが変える！」「130　沖縄を学びたい！」「141　沖縄絶品食堂」「145　沖縄の珈琲と紅茶」「151　沖縄の朝ごはん」「154　沖縄のお祝いごと」「158　与論島のスーパードクター」「162　ウルトラマンを創った男」「164　読者が好きな小さな宿」「180　旅の足音・北大東島」「188　この宝を次の世代へ」「191　デザインマンホールの世界」「192　きみの名は花ブロック」「193　ジオ琉球の旅」など

▽雑誌『Coyote』　（スウィッチパブリッシング）　※取材・文・写真構成

＊2010年7月沖縄特集号で「Highway1」についての記事執筆・写真構成8ページ

＊2016年特別号「冬こそ沖縄」巻頭の版画家・名嘉睦稔氏インタビュー記事など5ページ執筆

▽雑誌『BRUTUS』　（マガジンハウス）　※取材・文・写真・選書・インタビュー掲載など

＊「691　ビーチカルチャー」「709　本屋好き」「711　娯楽のチカラ」「715　島で暮らす」「720　気持ちいい音楽」「727　旅に行きたくなる」「733　海宿、山宿」（表紙写真撮影も）「742　グッド・コーヒー」「750　旅に行きたくなる」（キヤノン記事広告撮影も）「753　歩こう」「755　尊敬できる日用品」「759　おいしい自然派」「765　あんこ好き」「806　わざわざ行きたくなるホテル」「特別編集　フォルクスワーゲン・オーナーズマガジン」「826　Summer Time, Summer Music」「860　日本一の手みやげはこれだ！」「932　音楽と酒」など

▽雑誌『Hanako』　（マガジンハウス）　※取材・文・写真・コーディネート

＊2012年7月26日発売「沖縄特集」で、「あるあるシーンQ&A」など7ページを担当

＊2013年1月4日発売「聖地特集」で、沖縄の聖地取材コーディネートを担当

＊2013年7月11日発売「沖縄特集」で、巻頭10ページ「今、沖縄でしたいこと」、食堂記事4ページなど担当

＊2016年7月28日発売「夏の海を見に行く旅」特集で、沖縄のビーチ、カフェの記事4ページなど担当

▽雑誌『ミセス』　（文化出版局）　※取材・文・コーディネート

＊2013年1月7日発売「沖縄に教えてもらうこと」で、8ページを担当

▽雑誌『d design travel　沖縄号』　（D&DEPARTMENT PROJECT）

＊2013年7月発売。沖縄のロングライフデザインとして、映画『ウンタマギルー』について執筆

▽雑誌『Switch』　（スウィッチパブリッシング）　※取材・文・写真

＊2013年8月号「あの人の夏」特集で、「藤代冥砂と沖縄の夏」を担当

▽雑誌『Casa BRUTUS』　（マガジンハウス）　※取材・文

＊2014年2月号「最強・最新住宅案内」特集で、「沖縄・外人住宅の暮らしコミュニティー」4ページを担当

＊2014年5月号「世界のホテルBEST100」特集で、ザ・リッツ・カールトン沖縄の朝食ページを担当

▽雑誌『& Premium』　（マガジンハウス）　※取材・文・コーディネート

＊2014年2月号「ライフスタイルの教科書2014」特集で、沖縄の外人住宅の暮らし6ページを担当

＊2014年7月号「花と朝食」特集で、沖縄の朝食カルチャー4ページを担当

＊2014年9月号「サマーライフ」特集で、渡名喜島への読書の旅6ページを担当

＊2015年8月号「幸せなパンの話」特集で、「沖縄とパン」2ページを担当

＊2015年9月号「音楽と旅」特集で、沖縄の音楽バーの記事2ページを担当

＊2016年9月号「音楽と旅」特集で、ヤンバル最深部の旅6ページと沖縄音楽エッセイ1ページを担当

＊2016年10月号「カルチャーのあるカフェ」特集で、CAFE UNIZON物語を含む沖縄のカフェ4ページを担当

＊2017年7月号「キッチンと道具」特集で、沖縄のキッチンの記事2ページを担当

＊2019年4月号「心に響く言葉」特集、6月号「習慣」特集、7月号「器と日々の生活」の各号で記事を担当

▽旧暦フォトカレンダー『なつかしきオキナワ』　（ＮＰＯちゅらしまフォトミュージアム）
＊2009年版の企画・編集・文・訳
▽普久原恒勇・作曲家生活50周年（2011年秋）／『響』CD化（13年夏）関連　※取材・文・インタビュー
＊『芭蕉布』などで知られる沖縄を代表する音楽家について、CD『普久原メロディー』ライナーノーツのほか、『BRUTUS』『篦柄暦』『琉球新報』『記念公演パンフ』『沖縄タイムス』などに執筆
▽季刊会報誌『脈々』　（熱帯資源植物研究所）　※特集ページの企画・取材・文
＊沖縄県うるま市の農業生産法人・熱帯資源植物研究所が発行する季刊会報誌の特集ページを担当
＊2016年夏号「沖縄海藻録」、同秋号「ヤンバルの恵み」、2017年冬号「発酵の島」、同春号「沖縄のうつわ」、同夏号「三時茶の時間」、同秋号「サンゴ礁の恵み」、2018年冬号「島人の愛する黄金言葉」
▽WEBプレス『WAVE UNIZON』　※企画・編集・取材・文・写真
＊2017年12月スタートの自主メディア『WAVE UNIZON』を編集長としてスタート
＊琉球弧、東アジア、東南アジア、太平洋の島々など、「モンスーン・エリア」のカルチャーを、旅を切り口に紹介するWEBプレス　https://www.wave-unizon.com
▽雑誌『別冊カドカワ』「総力特集　RADWIMPS feat. 天気の子」　（KADOKAWA）　※文
＊「INSPIRED by the ARTIST」として新海誠作品へのシンパシーについて4ページのエッセイを執筆

＜主な連載＞
◇『恋ノウタ待受』　（携帯サイト／ボルテージ）　※『万葉集』の恋歌の訳・解説
＊『恋ノウタ』シリーズを携帯待受サイトで05年7月から11年11月まで毎週連載。全327回を書き下ろす
◇『ウタのうまれるところ　～島唄の風景～』（写真・垂見健吾／角川書店）　※編・訳・文
＊琉球のウタを紹介しながら、その生まれる風土と継ぐ人を描く。『野性時代』（角川書店）で２年間連載
◇『映画の旅／旅の映画』　（琉球新報／毎月末金曜日夕刊）　※文・写真
＊世界の映画のロケ地を巡る旅と、その映画への想いを綴るエッセイ。05年7月から09年3月まで全44回連載
◇『シネマごはん』　（琉球新報／毎月末火曜日）　※文・写真
＊映画に登場する料理に焦点を当てながら、映画を紹介するコラム。09年4月から11年12月まで全33回連載
◇『職業別映画帖』　（琉球新報／毎月末火曜日）　※文
＊映画の主人公の職業を切り口にして、映画を紹介するコラム。12年1月から17年6月まで連載。全62回。

＜主なプロデュースワーク＞
▽沖縄文化食堂・沖縄文化酒場『CAFE UNIZON（カフェユニゾン）』　（05年11月～）
＊宜野湾市でカフェの創業からコンセプト作り、プロデュース全般、マネジメント、展示・イベント企画
▽南国ドロップス『社交街の誘惑』『Colonia』
＊ライブ、アルバムのプロデュース全般、マネジメント
▽2007年参議院総選挙投票啓蒙活動「VOTEキャンペーン」
＊南国ドロップスによる投票啓蒙活動の企画・コピー・ＡＤ
▽沖縄県産業まつりの沖縄電力パビリオン「火のレキシ・火のミライ」（06年）「ゆ～ふる日和」（07年）
＊空間プロデュースとコピーを担当
▽写真イベント「琉球フォトセッション」　（NPOちゅらしまフォトミュージアム）
＊ゲストを招いてのライブ、朗読、トークショーを交えた、大規模写真スライドショー
＊07年@桜坂劇場（ゲスト：椎名誠氏、東松照明氏ら）、08年@桜坂劇場（ゲスト：よしもとばなな氏ら）、09年@リウボウホール（ゲスト：元ちとせ氏、島尾伸三氏ら）
▽琉球舞踊家・志田真木独演会『真木の会 in 桜坂』（08年11月／桜坂劇場）

＊制作、映像プロデュース、宣伝文、琉球古典音楽・民謡の訳詞

▽普久原恒勇トリビュートCD『普久原メロディー』（ユニゾンフォーチューン／11年10月発売）

＊HY、比嘉栄昇、DIAMANTES、下地勇、内田勘太郎、Cocco、ヒロヤマな音、jimama、MONGOL800らが参加し、沖縄を代表する作曲家・普久原恒勇の名曲群をカバーした、豪華コンピCDのプロデュース

▽iPad用アプリ『沖縄タイムマシーン』（NPOちゅらしまフォトミュージアム／12年5月発売）

＊沖縄の古い写真を活用した観光＆教育用アプリの企画・ディレクション・文を担当

▽阪神百貨店「めんそーれ沖縄　味と技展」特別写真展　（阪神百貨店梅田本店／12年5月）

＊沖縄物産展での沖縄復帰40周年を記念した写真展の企画・構成・テキスト作成

▽「ムジークフェストなら」沖縄音楽野外フェスティバル　（奈良公園春日野園地／2014・15・16・17年）

＊奈良県主催の「ムジークフェストなら」のメインイベントとして、毎年6月に2日間開催される沖縄音楽と芸能の大型野外フェスティバルを企画、総合プロデューサーをつとめる

＊2014年6月21・22日「歌い継がれる沖縄のウタ」と題し、夏川りみ、SAKISHIMA meeting、大工哲弘、きいやま商店、DIAMANTES、内田勘太郎、うないぐみ、フォーシスターズらが出演し、2日間で2万人動員

＊2015年6月20・21日「夏至の宴（カーチーヌアシビー）」と題し、HY、島袋寛子、ジョニー宜野湾、きいやま商店、前川守賢と元ちゃんバンド、でいご娘、上間綾乃、川門正彦らが出演し、2日間で3万人動員

＊2016年6月18・19日「沖縄、ウタの生まれる島」と題し、夏川りみ、りんけんバンド、パーシャクラブ、我如古より子、ネーネーズ、マルチーズロック、ジャアバーボンズ、Anlyらが出演し、2日間で2万人動員

＊2017年6月17・18日「命のお祝いフェスト」と題し、宮沢和史、大城美佐子、りんけんバンド、D-51、よなは徹、照屋政雄、饒辺愛子、イクマあきら、鳩間ファミリーらが出演し、2日間で3万人動員

＊2018年5月26・27日「沖縄の音楽と笑い」をテーマに、知名定男＆知名定人、DIAMANTES、THE SAKISHIMA meeting、前川守賢と元ちゃんバンド、ゆいゆいシスターズ、やなわらばー、きいやま商店、BANJO AI、津波信一、護得久栄昇＆仲座健太、じゅん選手＆しんとすけらが出演し、2日間で1.8万人動員

＊2019年6月2日「ウタめぐり、島めぐり」をテーマに、宮沢和史、大工哲弘、上間綾乃、池田卓、HIRARA、せやろがいおじさんらが出演し、1日で1.9万人動員

＊2020年も企画・プロデュースを担当するが、コロナ禍のため中止に。2021年6月5日開催に向けて、準備中

＜主な作詞＞

▽ティンクティンク『白い夏』『ゆびうた』『コンビニで逢いましょう』　※作詞

＊作曲はいずれも照屋林賢氏。『ゆびうた』はドコモ九州ＣＭ曲に

▽南国ドロップス『High High!』『太陽のしずく』『祈り』『ラ・ベジェッサ』他　※作詞

＊『High High!』はオリオンドラフトビールＣＭ曲に

＜講師など＞

▽大阪総合デザイン専門学校　非常勤講師（96年度～97年度）

＊絵本科で絵本編集講義を毎週担当

▽KBSラジオ『早川一光のバンザイ人間』　万葉集の講師（98年度）

＊番組内の「万葉集コーナー」で万葉集の講義を週1回、1年間担当。その放送で番組がギャラクシー賞受賞

▽京都造形芸術大学　非常勤講師（09年度～13年度）

＊通信教育部写真コースで、写真編集の3日間の集中講義を年1回担当

▽宮古島市立平良図書館　編集ワークショップ講師（同北分館／2016年11月26日）

＊「宮古で本を作るなら」をテーマに仮想出版社《ビブリオミャーク》編集会議としてワークショップを行う

▽内閣府主催「沖縄型産業中核人材育成事業　稼げる地域づくりの中核リーダー育成プログラム」特別講師

（南城市ゆいんちホテル／2018年10月19・20日）
＊沖縄観光コンベンションビューロー、JTB総合研究所、OTSサービス経営研究所によるセミナーで講師

＜その他＞
▽ラジオ番組『radio FUTENMA』『radio FUTENMA パート2』（文化放送／10年10月・11年6月）
＊普天間基地を抱える宜野湾市の生の声を紹介する、特別ドキュメンタリー番組でパーソナリティを務める
＊同局の番組審議委員会で高評価を得る
▽『沖縄県伝統工芸品ブランド戦略ワークショップ』（内閣府沖縄総合事務局／11年度）
＊沖縄の伝統工芸士に向けたブランディングワークショップのファシリテーターを務める
▽JAPANブランド『沖縄伝統染織《RYUKYU》の欧州ブランディング事業』（12年度）
＊中小企業庁の助成事業での専門家委員として、プロデューサーを務める
▽『万葉の日記念フォーラム』（奈良県立万葉文化館／12年9月16日）
＊「時空を超えたLOVE SONG」をテーマに、講演、対談を行う
▽『第5回　沖縄感性・文化産業シンポジウム』（内閣府沖縄総合事務局／13年3月8日）
＊「エンタテインメントビジネスの振興に向けて」と題したパネルディスカッションの司会進行を行う
▽『おきなわがんサポートハンドブック』（琉球大学医学部附属病院がんセンター）
＊沖縄県内のがん患者とその家族に無料配布する冊子の編集ディレクションを2013年版～21年版で担当
＊全国各都道府県の「がんサポートハンドブック」のひな型となっている
＊2020年版からは冊子版とともにデジタル版も制作
▽『沖縄県　がん患者さんのための療養場所ガイド』シリーズ全8巻（琉球大学医学部附属病院がんセンター）
＊沖縄県内のがん患者とその家族に無料配布する地域別冊子8巻を編集ディレクション。2016年3月発行
▽イメージパンフ『Venus terme』（かりゆしカンナタラソラグーナ／16年2月）
＊かりゆしカンナタラソラグーナのリニューアル企画用イメージパンフの立案・編集・文を担当
▽季刊誌『おきなわいちば』（光文堂コミュニケーションズ／2016年冬号）
＊「People特集」で取材を受け、2ページにわたり記事が掲載される
▽沖縄観光英文イメージパンフ『YAEYAMA』『KERAMA』『YANBARU』『SHURI & CENTRAL AREA』
（沖縄県文化観光スポーツ部／17年3月）
＊沖縄県発行のWEB版欧米富裕層向けインバウンド誘客用イメージパンフの和文コピー、和文テキストを担当
▽東アジア出版人会議『マルチメディア時代の編集テクニック』（台湾・台南市／18年4月17・18日）
＊日本、中国、韓国、台湾、香港、沖縄の出版人が集う、第24回東アジア出版人会議（台湾国立文学館）に沖縄代表として参加。「CONSTELLATION まとめる編集から、広げる編集へ」と題して発表を行う
▽漢那ドライブインアートプロジェクト『ぼくたちの台湾展』（同実行委員会／18年8～9月）
＊宜野座村の旧ドライブインの施設を利用したグループ展にWAVE UNIZONとして出展。台湾で撮影した写真をパネル展示し、台湾雑貨を販売
▽阪神百貨店「阪神の台湾フェス」（18年11月21～27日）
＊企画立案、イベントコーディネート
＊「TO 台湾 VIA 沖縄、TO 沖縄 VIA 台湾」と題し、トークイベントに出演（11月23日）。
＊2020年の同フェスでも、「台湾ローカルタウンを巡る旅」と題し、トークイベントに出演（3月5日）
▽沖縄県立博物館・美術館「台湾展」（19年9月6日～11月4日）
＊展示品貸し出し、写真提供
＊ミュージアムショップでの台湾民芸品や雑貨、グッズの販売を担当